

5. 東海（地域別調査機関：（株）U F J 総合研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・宿泊・宴会ともに予約が好調で、過去5年間で最も高い収益である。
		商店街(代表 者)	お客様の様子	・依然として客単価は上昇していないが、購買意欲が若干見られる。
	やや良く なっている	一般小売店[土 産](経営者)	来客数の動き	・客単価は低下しているが、売上は確実に回復している。昨年が底であったことが確信できる状況が続いている。
		百貨店(企画担 当)	販売量の動き	・コートなどの重衣料品や海外ブランドなどの高額商品が、ヤングやキャリアを中心に順調に伸びている。
	百貨店(外商担 当)	お客様の様子	・客からの電話注文が増加しており、購買意欲が増している。	
	コンビニ(エリ ア担当)	販売量の動き	・特売製品の動きが良好である。ただし、特売期間が終了するとその商品の販売が極端に落ち、他の類似特売品に流れてしまう。	
	コンビニ(エリ ア担当)	来客数の動き	・天候に恵まれ、売上は前年を上回っている。ただし、来客数は増加しているが客単価は低下しており、完全な回復ではない。	
	家電量販店(店 員)	販売量の動き	・前年同月比で見ると、売上は若干良くなっている。	
	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・客の購買意欲が増している。良い物にはお金を惜しまない客が増えている。	
	その他小売[貴 金属](経営 者)	販売量の動き	・若年層で一点豪華主義的な買物の仕方が目立っている。	
	その他小売[雑 貨卸](経営 者)	販売量の動き	・本年9月以前は、引き合いのみで注文には至らない場合が多かったが、9月を境に注文に結び付く引き合いが多くなっている。	
	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・海外旅行の振り替えがあり、法人、個人、団体ともに上向いている。	
	都市型ホテル (支配人)	それ以外	・設備点検や内装などの取引業者の仕事が忙しくなっている様子で、姿勢が以前と比べて強気である。	
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・忘年会、同窓会での利用が特に増加している。	
	旅行代理店(経 営者)	来客数の動き	・前年比で増収増益を見込んでいる。製造業、建設業からの受注を取ればさらに良くなる。	
	旅行代理店(従 業員)	販売量の動き	・個人客の動きは好調である。当社主催の低価格パッケージツアーは今月中旬に早くも前年下期実績を上回っている。一方で、高価格商品が低調なため、全体として数量は伸びても、収益はさほどでもない。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・連休には結婚式やイベントも多く、夜の街も木曜日や金曜日が若干良くなっている。	
	通信会社(企画 担当)	お客様の様子	・先月に続き、客からの問い合わせが増加しており、新サービスへの関心も高い。	
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・個人客は減少傾向にあるが、団体客が増加している。	
	美容室(経営 者)	お客様の様子	・レジャーなどの娯楽に消費を回す人が増えている。	
その他サービス [珠算塾](経 営者)	それ以外	・小学校入学前に九九を覚えさせたい親の意向で、幼稚園児の入塾がかつてない勢いで増加している。		
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・賃貸マンション、アパートの建設が増加している。特に、耐震構造の建物への関心が高くなっている。老後の収入源のために賃貸マンション建設を考える客も増えている。		
住宅販売会社 (企画担当)	来客数の動き	・リフォームのダイレクトメールへの反響が大きく、来客数等は伸びている。		
変わらない	商店街(代表 者)	単価の動き	・商品単価に下げ止まりの気配がない。客の値引き要求はきつい。	
	商店街(代表 者)	単価の動き	・来客数、売上とも安定しており、変化がない。	
	商店街(代表 者)	競争相手の様子	・高額な商品は売れず、安い商品ではスーパーの価格に負けてしまう。修理の仕事も少なくなり、大変厳しい状況である。	

一般小売店〔生花〕(経営者)	単価の動き	・相変わらず単価の低い商品ばかりが売れている。
一般小売店〔時計〕(経営者)	単価の動き	・相変わらず高額商品が動いていない。
一般小売店〔酒〕(経営者)	来客数の動き	・暖かい日が続いているにもかかわらず、来客数が減少している。お歳暮商戦が始まっているが、注文は減少している。
一般小売店〔高級精肉〕(企画担当)	販売量の動き	・来客数、売上ともに、若干前年を下回っている。
百貨店(売場主任)	お客様の様子	・暖かい日が多く、防寒用品を購入する客が少ない。
百貨店(企画担当)	販売量の動き	・気温が高く、季節商品の動きが非常に悪い。
百貨店(企画担当)	販売量の動き	・月前半の気温の高さで冬物の動きが止まっているが、月後半に販売額は盛り返しており、月合計では前年並みの売上を維持している。気温の変化に左右される部分はあるが、その影響を跳ね返す強さがある。
百貨店(経理担当)	販売量の動き	・来客数は若干増加しているが、依然として売上につながらない。
スーパー(経営者)	お客様の様子	・チラシ商品のみ購入する客が多く、依然として景気の回復は見えていない。
スーパー(店長)	単価の動き	・客単価は依然として前年の95%前後で推移している。同じ豚肉で3~4種類の容量のパックを並べると、最低容量の物が一番よく動く。また、安くても余分には購入しない。
スーパー(店員)	単価の動き	・来客数は前年と比べ増加している日があるが、売上は減少している。客は他店を買い回っており、客単価が下がっている。
スーパー(店員)	単価の動き	・1人当たりの買上単価がかなり落ちている。
コンビニ(経営者)	競争相手の様子	・破たんする店舗や、在庫を置く余裕がなく棚がガラガラという店も出てきている。
コンビニ(エリア担当)	それ以外	・売上の前年同月比は95%台である。前月比でもやや悪化している。他社との競合状況も引き続き厳しい。
コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・安売り時の客の反応は良いが、単発で終わってしまいその後の客単価、来客数増加につながらない。来客数は前年同月比で95%である。
コンビニ(店長)	お客様の様子	・お歳暮のスタートが遅れている。単価が高い物の売れ行きが鈍い。
コンビニ(売場担当)	単価の動き	・客単価が低下しているため、売上は全体で前年比95%と低迷しており、良くなる兆しが無い。
衣料品専門店(企画担当)	販売量の動き	・暖冬とはいえ、冬物衣料の動きが非常に悪い。特に防寒衣料は壊滅的であり、前年比50%台の商品もある。
家電量販店(店員)	販売量の動き	・パソコンの改正リサイクル法の影響もあり、販売量は落ちているが、修理などが増加しており、来客数は伸びている。
乗用車販売店(経営者)	競争相手の様子	・価格破壊ともいえる値段を提示する店舗が近くにある。
乗用車販売店(営業担当)	販売量の動き	・販売量は増加しているが、単価が低下している。
自動車備品販売店(経営者)	お客様の様子	・ボーナス支給を前に、値段の確認をしに来る客が増加している。しかしチラシ競争が激化しており、集客は難しく、売上も達成できない。
高級レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・販促活動を強化したことが功を奏し、予約客は着実に増加している。しかし予約以外の客は大幅に減少している。 ・週末や祝日は個人客を中心に好調であるが、平日の来客数は相変わらず低調である。来客数の減少を客単価の上昇でカバーし、売上を維持している。
スナック(経営者)	来客数の動き	・来客数にばらつきがある。1人だけの日もあれば一杯になる週末もある。売上をトータルすると前年並みである。
都市型ホテル(スタッフ)	単価の動き	・来客数は一進一退である。客単価は下げ止まったまま厳しい状態である。
旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・来客数が予想よりも伸びていない。

	旅行代理店（経営者）	競争相手の様子	・旅行業界は構造的な問題を抱えており、薄利の状況から抜け出せていない。また、客の低価格志向もより鮮明になっている。
	旅行代理店（従業員）	単価の動き	・行楽シーズンのため取扱量は増加しているが、客単価は横ばいである。
	タクシー運転手	お客様の様子	・乗客数に変化はないが、長距離の客は確実に減少している。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・携帯電話の販売台数は伸び悩んでいる。しかし、一部製品で買換え価格を下げているため、買換え台数は伸びている。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・今年度の入園者数は過去8年の中でも最低の実績である。当園の努力不足や景気の動向など複数要因が重なっている。
	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・暖冬が影響し、例年以上の来場者がある。売上は前年比で増加している。
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	競争相手の様子	・受注量は先月とほぼ変わらず、横ばいである。ただし、今月より大手メーカーの新商品の取り扱いを始め、競合他社が市場価格よりも低い価格で挑んできている。これによって、現行品を含めた値下げ競争に突入している。
やや悪くなっている	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・土曜日曜も平日のような閑散とした売場状態で、売上も全く伸びていない。
	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・客の買上が減少しており、どの店舗とも売上が伸び悩んでいる。他店との競争も激化しており、安くしても売れない。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・年末を前にしているのに、客の慎重な買い方が目立つ。
	スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価が9%ほど減少している。
	スーパー（仕入担当）	単価の動き	・以前は100円均一セールでにぎわっていたが、今では88円均一、77円均一と価格を下げている。競合店の出店もあり、客の奪い合いとなっている。そのため、来客数、客単価ともに前年割れである。
	コンビニ（店長）	単価の動き	・客は、目的とする商品しか購入しない。
	乗用車販売店（従業員）	競争相手の様子	・年末であるが、来客数も少なく、売上も伸びていない。
	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・来客数、商談、修理入庫ともに減少しており、危機感を募らせている。
	その他専門店〔貴金属〕（店長）	単価の動き	・来客数の減少はないが、客単価が低下している。高額商品の動きも悪い。
	その他小売〔総合衣料〕（店員）	販売量の動き	・暖冬で、防寒着の動きが鈍い。メーカーからの商品納入状況も悪く、追加の納品が見込めない。
	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客の財布のひもは固く、来店回数も減少している。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・忘年会シーズンの予約が全く入っていない。最近流行している、しゃれた個室がある店に客が集まっている。
	旅行代理店（従業員）	単価の動き	・日帰りの安い商品は売れているが、飛行機などを使った高額商品の動きは鈍い。
	観光名所（案内係）	来客数の動き	・夜の街は閑散としており、悪い状態が継続している。
悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・秋口より同業者の廃業が相次いでいる。次は我が身かと思うと身震いする。
	一般小売店〔結納品〕（経営者）	来客数の動き	・消費者には将来に対する不安があり、非常に悪い状況である。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・暖冬の影響で季節商品の動きが全くない。客はすぐに必要な商品でない限り購入しない。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・例年に比べ気温が高いため、飲料、アイスクリームの動きは良い。しかし、それ以外の商品については相変わらず低調である。
	衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・毎月のように販売量が減少し続けている。客先においても動きがほとんど見られない。

		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・ボーナス商戦で活気がある時期だが、来客数、販売量、客の様子などすべてにおいて最悪な状態が続いている。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・住宅金融公庫の金利が再び下がるまで、住宅を買い控えている客が多い。
企業 動向 関連	良く なっている やや良く なっている			
		パルプ・紙・紙 加工品製造業 (総務担当)	受注量や販売量 の動き	・受注量が増加しており、単価も徐々に上昇している。
		化学工業(人事 担当)	受注量や販売量 の動き	・販売量の動きが若干良くなっている。
		鉄鋼業(経営 者)	受注価格や販売 価格の動き	・客当たりの仕事量が増加している。
		電気機械器具製 造業(従業員)	取引先の様子	・客先で受注動向の話をする、上向いているという 答えが多い。
		輸送業(エリア 担当)	受注量や販売量 の動き	・自動車関連、自動車部品関連の荷物が非常に好調である。
		企業広告制作業 (経営者)	それ以外	・好調業種と低迷業種がはっきりしている。淘汰の時代は一時的に混乱するが、長期的には成長への第一段階である。
		その他非製造業 [ソフト開発] (経営者)	取引先の様子	・高額な設備投資をする企業が出てきており、景気 の好転は明らかである。一方、今まで設備投資をしてきた企業は少し慎重になってきている。
	変わらない	金属製品製造業 (従業員)	受注量や販売量 の動き	・加工品の動向にばらつきがあるため、全体が好転し ているとは言えない。
		金属製品製造業 (従業員)	受注価格や販売 価格の動き	・仕事が重なって工場は忙しいが、仕事量全体が増え ているだけでなく、かえってコストアップの要因とな りかねない。
		一般機械器具製 造業(販売担 当)	受注量や販売量 の動き	・引き合い件数が少なく、受注確率も低い。
		電気機械器具製 造業(従業員)	受注量や販売量 の動き	・1社当たりの購入量が少ない。1台購入後の追加購 入も少ない。
		電気機械器具製 造業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・依然として激しい価格競争で受注単価が下がって いる。
		建設業(経営 者)	取引先の様子	・受注が減少している。
輸送業(従業 員)		受注量や販売量 の動き	・首都圏の排ガス規制の影響もあり荷物量は増えて いるが、運賃単価は下落しており、収入が増えない。	
輸送業(エリア 担当)		競争相手の様子	・首都圏の排ガス規制が実施され、古い車両では関東 方面の仕事ができない。そのため車両不足が起き、運 輸業界全体で運賃が高騰している。その高騰分を客に 転嫁できないのが現状である。	
輸送業(エリア 担当)		取引先の様子	・例年であれば客から臨時便の要請があるが、そのよ うなことがほとんどない。	
金融業(従業 員)		受注量や販売量 の動き	・将来不安によって年金商品に重点を置く客が増加し ている。	
経営コンサル タント	取引先の様子	・企業が土地を購入する動きはほとんど見られない。		
公認会計士	取引先の様子	・顧問先の中小企業の業績は向上していない。		
会計事務所(職 員)	取引先の様子	・サービス業では、老人医療関係は好調だが、飲食関 係は厳しい。小売業では、大手スーパー、ショッピング センターは維持しているが、八百屋、電器屋、米 屋、酒屋など中小業者は廃業寸前である。		
やや悪く なっている	非鉄金属製品製 造業[鋳物] (経営企画担 当)	受注量や販売量 の動き	・受注量、単価とも相変わらず減少、低下傾向であ る。	
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・国内販売はOEM関連が比較的安定しているが、そ の他の単品での販売は不調である。納期を先延ばしさ れる物件もあり、売上を下方修正する要因となっている。 輸出では欧州向けを始めとする受注量が回復する かどうか懸念される。為替相場も不安要素である。	
悪く なっている	窯業・土石製品 製造業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・3か月前と比較すると、売上は17.7%減、経常利益 は34.3%減と、大幅な減収減益になっている。	

		その他非製造業 [デザイン] (経営者)	受注量や販売量 の動き	・大型プロジェクトの受注がなくなり、単発的な仕事 が中心になってきている。
雇用 関連	良く なっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・金融、証券関連での受注が増加している。
		職業安定所(所 長)	求人数の動き	・月間有効求人はこちら数か月順調に上昇しており、 1.65倍という平成4年に記録して以来の数字となっ ている。
	やや良く なっている	新聞社[求人広 告](担当者)	求人数の動き	・各種請負業を中心に求人件数が増加している。しか し、本来の意味の求人という部分では不安が残る。
		職業安定所(職 員)	求職者数の動き	・雇用保険の受給者が若干ではあるが減少傾向にあ る。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・管内の有効求人倍率は、3か月前と比較すると、月 間有効求人が12.0%増加し、月間有効求職者が4.4% 減少していることから、0.15ポイント上昇の1.05倍と なっている。 ・前月と比較すると、0.03ポイント上昇し、2か月連 続で1倍台となっている。 ・新規求人は、前月同月と比較すると、建設業、卸小 売業、運輸通信業でそれぞれ9.1%、8.6%、5.8%減 少している。一方、主要産業のサービス業、製造業で それぞれ27.1%、6.8%増加しているため、全体では 5.5%増加している。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・仕事量の増加に伴い、ここ数年求人していない企業 が人材募集を始めている。
		民間職業紹介機 関(経営者)	採用者数の動き	・エンジニアの求人増加傾向は続いている。今まで自 動車関連メーカーが雇用をけん引してきたが、薄型テ レビや携帯電話などが好調な家電メーカーからの求人 も増えている。
		民間職業紹介機 関(職員)	雇用形態の様子	・求人する企業数、求職者数ともに増加しているが、 求人企業数の方がより増加してきている。
	変わらない	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・派遣ニーズは増加しているが、派遣料金は低く抑え られている。
		アウトソーシ ング企業(エリア 担当)	求人数の動き	・自動車やIT関連が好調で、製造業の求人は増加傾 向である。ただし、同業者の参入が多く競争激化して おり、価格の低下が止まらない。
新聞社[求人広 告](営業担 当)		雇用形態の様子	・求人広告件数は前年と変わらない水準で推移してい るが、雇用形態が正社員中心からパート、アルバイト 、契約社員などの軽雇用に移行している。短期契 約、低額報酬で雇用条件の悪いものも多く、求人と求 職がかみ合わないケースが多い。安定的な雇用環境の 広がりが見えてこない。	
職業安定所(職 員)		求人数の動き	・ここ数か月、新規求人は全国的に増加傾向が続いて いるが、特に建設業、製造業、サービス業で大幅に増 加している。しかし当管内では、製造業とサービス業 では10月に前月比で13~14%増加しているが、建設業 は27%の大幅減である。新規求人に占める県外求人の 割合も高く、求人内容も請負などの不安定雇用が増加 している。	
職業安定所(管 理部門担当)		それ以外	・有効求人倍率は1.20と平成4年以來の高水準となっ ているが、ミスマッチが多く、就職率は低い状態が続 いている。	
やや悪く なっている	-	-	-	
悪く なっている	-	-	-	